

みやこはし 京の橋しるべ 第14号

(平成31年1月発行)

◆ 橋りょう台帳を利用した橋りょうの管理

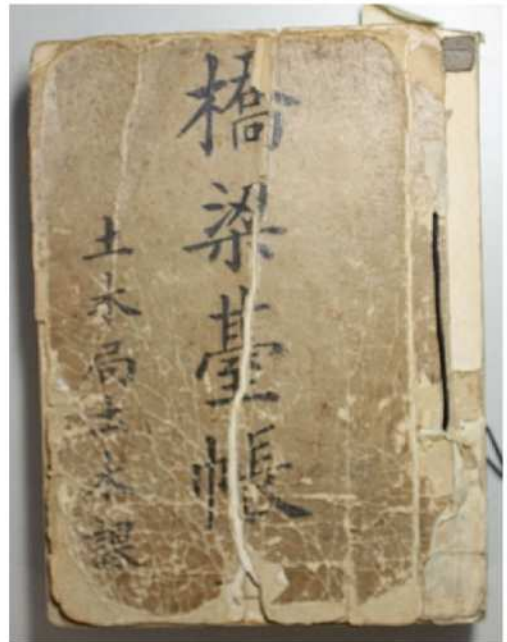
今回は、橋を維持管理するために必要な資料のひとつの「橋りょう台帳」について、大正期に作成されたものを紹介しながら、読み解いていきます。

◆ 橋りょう台帳について

「橋りょう台帳」には、日常の管理に必要な事が載っています。私たちが橋を利用する他に、例えば大規模なクレーン車や建設工事等に用いる大型の資材を積んだトレーラーが渡ることもあり、どのくらいの重さに耐えられるかが載っているため、重さによってはルート変更をすることもあります。また、橋の裏側には、水道管やガス管などが吊られており、これらの重さは橋の設計や維持管理に反映するため、情報を整理する必要もあります。

さらに、実施中の橋の修繕や耐震化も、以前に行われた補修の履歴や工法を参考にして、工事内容や方法を決めています。

本市に残る最も古い台帳は、90年以上前の大正13年及び14年に、当時の土木技術者が作成したものです。

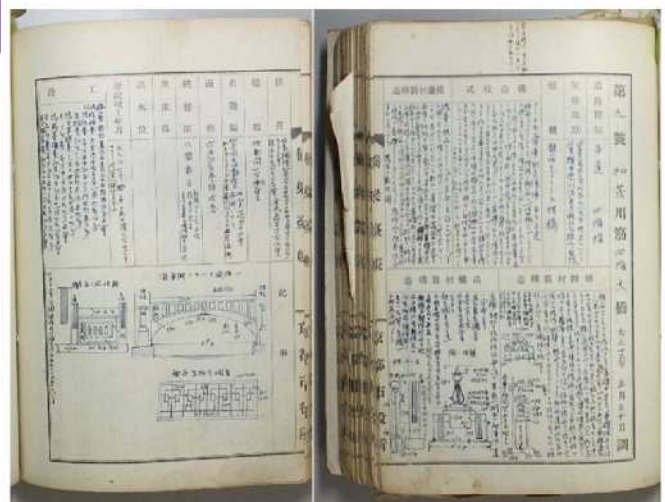


旧橋りょう台帳

◆ 過去の台帳を読み解く

この台帳に載っている「四条大橋」を紹介합니다。四条大橋は、明治末期に鉄筋コンクリート製のアーチ橋^(注1)が架設されましたが、昭和10年に大洪水が発生したことを受けて、昭和17年に現在の鋼連続桁橋^(注2)に改築されています。

(詳細は、「京の橋しるべ4号」参照)

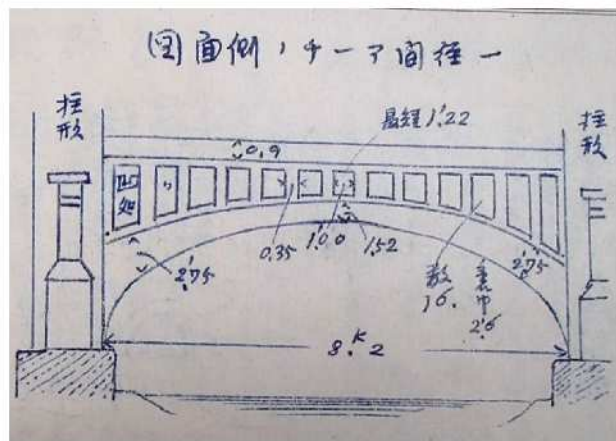


旧橋りょう台帳(四条大橋記載部分)

台帳には、アーチの形状が描かれており、欄干の格子型や照明の灯籠も特徴的なモダンなスタイルとなっていたことが伺えます。

当時の台帳で最も注目すべきは、全て手描きで、「構造様式」(橋全体の構造の概要)や橋台・橋脚・高欄(欄干)といった部分ごとの「材質構造」(材質や構造の詳細)が詳しく解ることです。

これらの丁寧な図を見ると、当時から京

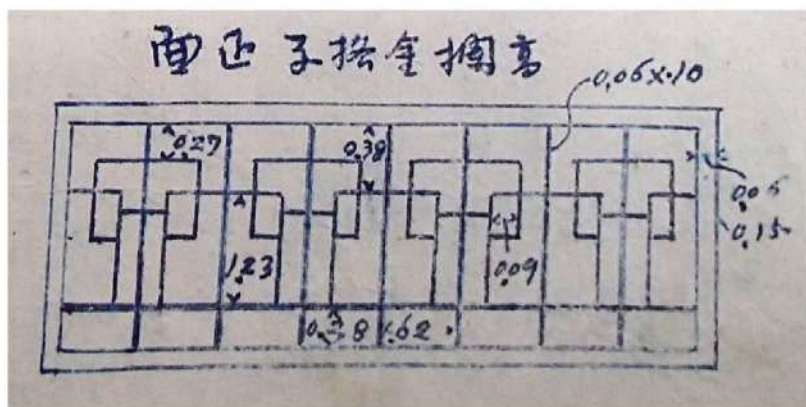


アーチ橋であったことが伺える図面

都市では詳細な内容が載っている「橋りょう台帳」を活用して橋の管理を行ってきたことが伺えます。

注1:主構造にアーチ(曲線状の梁)を用いた橋。

注2:主構造に鋼製の桁を用いた橋で、中間橋脚を有するもの。



洗練されたデザインの高欄



特徴的な灯籠

◆ 現在の橋りょう台帳とこれからの管理

現在の橋りょう台帳は電子化しており、必要な情報が端的にわかるように工夫しています。さらに、管理図面や状況写真等の多くの情報を集積しています。

建設局では、先人たちから脈々と受け継いできた橋りょう台帳を活用し、橋りょうの維持管理を行っています。

また、橋りょう台帳を利用して「京都市橋りょう長寿命化修繕計画」を立案しています。

今後とも5年に1度実施することが義務化されている橋りょうの定期点検の際に、橋りょう台帳を更新していき、情報を蓄積し後世にしっかり伝えていきたいと思えます。

〈京の橋の紹介⑬〉

松尾橋（まつおはし）

場 所：京都市右京区梅津大縄場町

河 川 名：一級河川 桂川

橋の種類：RC単純T桁橋
鋼非合成ゲルバー橋

橋 長：200.0m

幅 員：11.0m

完 成 年：昭和28年（1953年）



中世から酒の神として信仰の篤い松尾大社の参道や京都の市街地と洛西を結ぶ役割を果たしているのが、「松尾橋」です。松尾大社の門前南側に、高さ2メートルほどの石灯籠が残っており、松尾橋ができるまでは下流に架かる上野橋や桂橋を渡る旧道(府道宇多野嵐山山田線)を通るコースがお参りのメインルートであったことを物語っています。松尾橋は、松尾大社参拝者にとって近道という恩恵をもたらしたようです。

これまで簡易な木橋であった松尾橋は、昭和10年及び20年の洪水により流出し、昭和28年の災害復旧工事によって、現在の橋となりました。

さらに、昭和46年に拡幅し、両側に歩道をもつ幅員11メートルの橋となりました。

現在、耐震補修工事を行っており、完成後は歩道が拡がり、より安全で歩行者にとって通行しやすい橋に生まれ変わります。



松尾大社

◆ 京の橋しるべについて

私たち建設局橋りょう健全推進課では、市民の皆様の安心・安全な生活を守るため、京都市が管理する「橋」の耐震補強と老朽化修繕を進めています。

その取組を市民の皆様にもっと知っていただくため、また、私たちの日常生活を支えるかけがえのない「橋」について関心を持ってもらい、身近なものとして親しんでいただくため「京の橋しるべ(みやこのはししるべ)」というリーフレットを定期的に発行し、市民の皆様に「橋」にかかわる様々な情報を発信しています。

「道しるべ」は、道路に目的地までの距離や方向を示し、道案内のために設置されたものですが、「橋しるべ」は私たちの「橋」に関する取組などをわかりやすくお伝えして(案内して)いきたいということで名付けました。

発行・お問い合わせ 京都市建設局橋りょう健全推進課(TEL 075-222-3561)



京都市では、橋の歴史や補修取組、有名な橋を紹介した冊子「京の橋しるべ」と、道路や公園などの損傷箇所を投稿するアプリ「みっけ隊」を配信しています。

詳しくは Web で！

[京の橋しるべ](#)

検索



&

[みっけ隊 募集中](#)

検索

